

平成 2 2 年

# 第 1 回 子 ども 議 会 会 議 録

平成 2 2 年 2 月 5 日 開会  
平成 2 2 年 2 月 5 日 閉会

江 田 島 市 子 ども 議 会

招集年月日 平成22年2月5日  
招集の場所 江田島市議会議場

## 会 議 録 目 次

### 2月5日（金）第1日

出席・欠席議員	1
本会議に説明のため出席した者の職氏名	1
本会議に職務のため出席した者の職氏名	1
議事日程	1
開会（開議）	2
議員あいさつ	2
市長あいさつ	3
執行部自己紹介	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
一般質問	5
1 江田島市水族館について	5
2 江田島市の人口を増やすことについて	6
3 江田島市の環境問題について	8
4 江田島市のPRについて	9
5 街灯設置について	10
6 江田島市の医療体制について	11
7 子供たちが江田島市の自然や産業の体験できるプロジェクトについて	13
8 江田島市の芝生の公園について	15
9 高齢者の介護について	15
10 海をきれいにする運動について	16
11 安心して健康に暮らせるまちづくりについて	18
12 島内での働く場所の確保について	20
13 廃校になった小学校の活用について	21
閉 会	24

（2月5日 閉会）

2月5日（第1日）

2月5日(金)第1日 午後2時00分開議

出席議員

1番	八川竜也	2番	山本滉己
3番	中畑駿之助	4番	表田陽来
5番	高田菜々子	6番	杉原由真
7番	猪垣真理恵	8番	出張拓哉
9番	川尻真希	10番	高祖信宏
11番	三好元輝	12番	山野由美
13番	中矢寛子	14番	道本竜一
15番	胡谷悠真	16番	白桃あゆみ
17番	横撫夏美	18番	富島優作
19番	迫田みなみ	20番	盛本秀之
21番	中矢拓也		

欠席議員

なし

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	正井 嘉明
教育長	万治 功	総務部長	酒永 光志
市民生活部長	西山 弘行	福祉保健部長	徳永 信幸
産業部長	島本 俊明	土木建築部長	幸野 潔
会計管理者	空久保博志	教育次長	重川 忠道
消防長	岡野 数正	企業局長	大越 静博

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	玉井 栄藏
議事調査係長	新庄 啓子

議事日程

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	一般質問

開会（開議） 午後２時００分

○議長（上田 正君） 皆さん、こんにちは。

きょうは第１回の子ども議会ということで、小学生の皆さんが１４名、中学生が７名、計２１名で会議を行います。子ども議会は、皆さん方に自分たちのまちの仕組みやあるいは実態、あるいはいろんな計画等についての正しい情報や意見を表明する機会を得ていただくということでもあります。また、議会制度というものも勉強してもらいたいということで、大変意義のあることだと思えます。こうした機会を持って、皆さん方がまちの政治に関心を持っていただければ大変ありがたいと思えます。また、大人の皆さんと違った視点で、率直で素直な意見や考えをしっかりと発言をしていただければ大変よろしいかと思えます。

本日はよろしくお願ひいたします。

ただいまの出席議員は２１名であります。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成２２年第１回江田島市子ども議会を開会します。

これより、本日の会議を開きます。

日程に先立って、本日出席の子ども議会の議員の皆さんの自己紹介をお願いをしたいと思います。

１番議員さんから順番にお願いをします。

○１番（八川竜也君） 切串小学校６年の八川竜也です。よろしくお願ひします。

○２番（山本滉己君） 切串小学校６年、山本滉己です。よろしくお願ひします。

○３番（中畑駿之助君） 江田島小学校６年、中畑駿之助です。よろしくお願ひします。

○４番（表田陽来君） 高田小学校６年、表田陽来です。よろしくお願ひします。

○５番（高田菜々子君） 中町小学校６年、高田菜々子です。よろしくお願ひします。

○６番（杉原由真君） 中町小学校６年、杉原由真です。よろしくお願ひします。

○７番（猪垣真理恵君） 鹿川小学校６年、猪垣真理恵です。よろしくお願ひします。

○８番（出張拓哉君） 鹿川小学校６年、出張拓哉です。よろしくお願ひします。

○９番（川尻真希君） 三高小学校６年、川尻真希です。よろしくお願ひします。

○１０番（高祖信宏君） 大古小学校６年、高祖信宏です。よろしくお願ひします。

○１１番（三好元輝君） 大古小学校６年、三好元輝です。よろしくお願ひします。

○１２番（山野由美君） 柿浦小学校６年、山野由美です。よろしくお願ひします。

○１３番（中矢寛子君） 柿浦小学校６年の中矢寛子です。お願ひします。

○１４番（道本竜一君） 飛渡瀬小学校６年、道本竜一です。よろしくお願ひします。

○１５番（胡谷悠真君） 江田島中学校２年、胡谷悠真です。よろしくお願ひします。

○１６番（白桃あゆみ君） 江田島中学校２年、白桃あゆみです。よろしくお願ひします。

○１７番（横撫夏美君） 能美中学校２年、横撫夏美です。よろしくお願ひします。

○１８番（富島優作君） 三高中学校２年、富島優作です。よろしくお願ひします。

○19番（迫田みなみ君） 三高中学校1年、迫田みなみです。本日はよろしくお願いいたします。

○20番（盛本秀之君） 大柿中学校2年、盛本秀之、よろしくお願いいたします。

○21番（中矢拓也君） 大柿中学校2年、中矢拓也、よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 続いて、田中市長があいさついたします。

田中市長。

○市長（田中達美君） 皆さん、こんにちは。

議席へ座った座り心地はどうでしょうか。きょうは、第1回の江田島市の子ども議会が市内の小・中学校13校の代表者21名を迎えまして、このように開催されますことを大変うれしく思います。

また、傍聴者の方は昼間の大変お忙しい中、傍聴に来ていただきましてありがとうございます。本当のうちの市議会の傍聴のときよりはたくさん参加していただいているような気がして、本当のうちの市議会のときもこんなにたくさん参加していただければいいような、今あそこで座って考えていたところですが、きょうはありがとうございました。

皆さんもご存じのように、江田島市は平成16年の11月1日に、旧江田島町、能美町、沖美町、それから大柿町が合併しまして誕生いたしました市です。早いものでもう5年を経過いたしました。

江田島市では、「自然との共生・都市との交流による海生交流都市江田島」を将来像に掲げ、まちづくりを進めています。それは、海や山の自然とともに生き、自然にはぐくまれ形づくられた歴史や文化を大切にしながら、いろいろな交流を生み出し、まちの住みよさ、美しさ、元気を高め、江田島市の個性と魅力を育てていこうというものです。

きょうは、このようなまちづくりのこと、市役所のいろいろな仕事について考え方を話し合い決定する大事な議会の議事室を使わせてもらっての子ども議会でございます。

きょう1日、議員として有意義な時間を経験してください。

さて、皆さんがこの日のためにいろいろと調べられ用意された質問は13問あると聞いております。基本的には、市長の私と江田島市教育委員会の教育長で回答したいと思っておりますが、質問の内容によりましては、それぞれの担当部長がお答えすることもあるかと思っております。皆さんからの質問、提言を今後の江田島市がより豊かに発展していくために、大いに参考にさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

これからの江田島市を担うのは皆さんの若い力です。きょうの経験を1つのスタートに、皆さんが私たちのまち江田島市をふるさととして、そのよさを感じ、魅力あるまちづくりに自分も加わりたい、加わっていこうという前向きな気持ちになっていただければとてもうれしく思います。

終わりに、本日の子ども議会開催のためにご尽力をいただきました市議会、各学校はじめ関係者の皆様に心からお礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

○議長（上田 正君） これで、市長のあいさつを終わります。

執行部の紹介をお願いします。

○副市長（正井嘉明君） 皆さん、こんにちは。副市長の正井嘉明です。よろしくお願いいたします。

○教育長（万治 功君） 皆さん、こんにちは。教育長の万治 功です。よろしくお願いいたします。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 福祉保健部長の徳永と申します。よろしくお願いいたします。

○総務部長（酒永光志君） 総務部長の酒永光志と申します。よろしくお願いいたします。

○産業部長（島本俊明君） 産業部長の島本俊明です。よろしくお願いいたします。

○土木建築部長（幸野 潔君） 土木建築部長の幸野潔でございます。よろしくお願いいたします。

○市民生活部長（西山弘行君） 市民生活部長の西山弘行です。よろしくお願いいたします。

○教育次長（重川忠道君） 教育次長の重川忠道です。よろしくお願いいたします。

○企業局長（大越静博君） 皆さん、こんにちは。企業局長の大越でございます。担当しています係は、中町・高田から宇品に走ります交通船事業、それと、皆さん方にご家庭にお届けしています上水道の関係の仕事をしています。きょう1日よろしくお願いいたします。

○消防長（岡野数正君） 火事と救急119、消防本部消防長の岡野数正と申します。どうかひとつよろしくお願いいたします。

○会計管理者（空久保博志君） 会計管理者の空久保です。よろしくお願いいたします。

○議長（上田 正君） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（上田 正君） 日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本子ども議会の会議録署名議員は、議長において1番 八川竜也議員、21番 中矢拓也議員を指名します。

#### 日程第2 会期の決定

○議長（上田 正君） 日程第2「会期の決定」についてを議題といたします。

お諮りします。

本子ども議会の会期は本日1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上田 正君） 異議なしと認めます。

したがって、本子ども議会の会期は本日 1 日限りといたします。

### 日程第 3 一般質問

○議長（上田 正君） 日程第 3 「一般質問」を行います。

その前に、お願いを申し上げたいと思います。

一般質問に当たっては、率直で素直な意見や考えをしっかりと元気よく発言していただきたいと思います。

それでは、順次一般質問を行っていただきます。

7 番 猪垣真理恵議員、8 番 出張拓哉議員お願いします。

○7 番（猪垣真理恵君） 7 番 鹿川小学校、猪垣真理恵です。「江田島市水族館について」質問します。

市長は、「協働・改革・前進」のスローガンのもと、「自然の共生、都市との交流による海生都市えたじま」を目指されています。私も、たくさんの人と楽しく気軽に触れ合えるまちがいいなと思います。また、たくさんの人に、この江田島市の自然のすばらしさを知ってもらいたいと思います。

そこで提案させていただきます。江田島は四方を海に囲まれており、この利点を生かして江田島に住む生き物の水族館をつくれませんか。環境館もあり、海の生き物に関する専門家もいらっしゃいます。その環境館とタイアップする形で取り組めば、第二の環境館として子供からお年寄りまで楽しめ、学習にも生かすことができる施設になると思います。外装や内装をリニューアルし、ガイドブックをつくったりすれば、江田島に来る人もふえると思います。どうでしょうか。

○議長（上田 正君） 答弁を許します。万治教育長。

○教育長（万治 功君） それでは、鹿川小学校の猪垣真理恵議員、出張拓哉議員の「江田島市水族館について」の質問にお答えをいたします。

江田島市に住む生き物の水族館をつくれませんかのお尋ねでございます。

水族館は、いろいろな生き物を手軽に見て楽しむことができますが、建物や水槽などの設備をつくったり、生き物を飼育していくには大変多くの費用がかかります。そのため、江田島市が、例えば宮島水族館や下関の海響館のような水族館をつくることは難しい状況ではないかと思えます。

しかし、江田島市は四方を海に囲まれており、海の生き物を直接観察したり研究したりするのに恵まれた環境にあります。江田島市の周辺の海には、カブトガニやハクセンシオマネキといった貴重な生き物も生息をしております。景色のきれいなこのふるさとの海には、まだまだたくさんの宝が眠っています。この江田島市全域の自然をまるごと一つの水族館や博物館と考えるエコミュージアムとして、自然のおもしろさ、美しさ、そして巧妙さを紹介するガイドブックなどをつくり、多くの人に知らせることも必要なことだと思っています。

環境館は、正式には大柿自然環境体験学習交流館といい、自然の中で直接体験を通して学んだり楽しんだりすることを目的とした施設です。この環境館を大切にし、これか



ら内容をより充実をさせて、海の生き物や科学について楽しくいろいろなことが学べる場所にしていこうと考えています。

今後も皆さんが身近な自然に目を向け、自然を大切に作る豊かな心を育てていただきたいと思っています。

以上です。

○議長（上田 正君） いいですか。これで終わってもいいんですか。質問ありませんか。

以上で7番 猪垣真理恵議員、8番 出張拓哉議員の一般質問を終わります。

続いて、4番 表田陽来議員。

○4番（表田陽来君） 高田小学校6年、表田陽来です。僕は、「江田島市の人口をふやすことについて」質問します。

僕は、この江田島市の問題は、人口が少ないことだと思います。ただ普通にまちを見ているとにぎやかに思えますが、人口が少ないから多くの学校が統合されています。僕は友達をふやして一緒に遊んだり、知らないことを教え合ったりしたいと思っています。そのために人口をふやして、子供の数をふやしてほしいと思います。

江田島市は、人口をふやすためにどんなことをしていますか。教えてください。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 表田陽来議員の「江田島市の人口をふやすことについて」の質問にお答えいたします。

江田島市が誕生したときの人口は約3万1,000人でした。5年経過した今では、2万8,000人に減少しております。人口が減少すると表田議員が言われるように、学校の統廃合を始め、地域社会や日常生活などにさまざまな影響を与えております。

人口減少の理由は、子供が生まれる人数が非常に少ないことにありますけれども、調査によると、一般家庭の子供の数は今や平均1人程度とのことであります。江田島市では、子供を安心して育てられる環境づくりに取り組むため、昨年度、子育て支援センターを設置して、子育て等に関する相談や援助、保育園での延長保育、また、乳幼児の一時預かりなどを実施しております。

また、江田島市に住んでもらうための取り組みとして、市への移住相談や市内の空き家の紹介、実際に幾日か江田島市内に住んでもらう「お試し暮らし」、本市へ移住し住むための家を建てる時の費用の助成などを行っております。このような取り組みの結果、昨年度から27世帯51人の方に定住していただきました。

これからも、子育て対策や定住対策を積極的に進め、江田島市の人口をふやす努力をしていきたいと思っています。

以上です。

○議長（上田 正君） 4番議員さん、ほかにありませんか。はい、4番議員さん。

○4番（表田陽来君） 先ほど市長は住む場所についてのことを話されましたが、僕は場所だけでなく、この江田島市には働く場所が少ないことも原因だと思います。だから僕は、何かの工場などを建てて働く場所をつくったらいいと思います。

それと、ショッピングセンターなどが1カ所にしかなく、遠くて行きにくい人などが

いて困っていると思うので、ショッピングセンターなどをもう1つ設置して暮らしやすくしたらいいと思います。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 1点目は働く場所を何とかふやせないかという質問でございますけれども、実はこれまでに江田島市内へ企業は進出、要するに江田島市内へ何か工場や何かをつくりたいという話も実際にはいろいろあります。ところが、実際に江田島市内へ来てみてですね、工場を建てるとかいう話になりますと、実は皆さんもわかりますけれど、今例えば工場で作るとですね、トラックで日本中へこう配達します。そのときですね、どうして配達するかというと、国道使ったり、高速道路を使ったりして運んでますね。わかりますね、私の言うことは。そうするとですね、江田島市内で作ったのを、ずっと呉を通して東広島へ行って、山陽道、高速道路使って物を運ぶ場合にですね、高速道路の横へ工場をつくるんですね、江田島市内に工場つくるんですね、高速道路に行くまで2時間かかります、江田島市内から。そうすると、休憩なしで山陽高速道路行くまで、行って戻るだけでも2時間のロスがあります。東広島の高速道路の横へ工場つくと、5分で高速道路へ物を配達できます。江田島市内でつくと、どんなに早くとも、往復すると半日人の給料がむだになります。ガソリン代がむだになります。タイヤが減ります。車代がかかりますいうように、要するに物をつくって売るときには、そういう物流コストというんですけども、そういう物流コストがですね、東広島でやるのと江田島市でするのは、ものすごく差が出てですね、江田島市でつくった物は高く売らないと採算にとれないということがあってですね、現実にはなかなか江田島市内へそういう企業誘致するというのは難しいのが実際でですね、働く場所を誘致するというのが大変難しい状況が今の状況ということでございます。

それと、ショッピングセンターがあればいいということなんですけれども、江田島市の人口の2万8千ですね、いまある大きなショッピングセンターでもう十分いうんですか、もう1つ大きいショッピングセンターをつくと、それでは採算がとれないから、倒産するいうんですかね、商売としてはなかなかやっつけいけないということで、これは、江田島市が誘致するよりは民間の業者さんの考えで、もしもうけることができればほっといても民間の業者さんが来ます。今の状態ですと、あれだけあのゆめタウンがあって、藤三があって、藤三も3カ所か4カ所ありますね。大柿にはマックスバリューがありますね。もうあれだけで江田島市内では十分ということです。ただ、地域的に沖美町とかね、沖美町にはそういう大型の小売店がないので、沖美町の方には非常に不便な、逆に飛渡瀬の方の方はすぐ隣に大きいのが2つあるというように、そこで生活しとる人にとってはいろいろ問題ありますけれども、これは商売するからには損をしたらできませんので、皆さんの希望と商売される方が実際にはうまくマッチングできないということで、皆さんに、沖美の方には非常に不便な思いをしていると思いますけれども、我慢をして鹿川まで、鹿川の藤三とか飛渡瀬のゆめタウンまで買い物に来てもらうしかないかなあというように思います。

以上です。

○議長（上田 正君） 4番 表田陽来議員さん、ほかに質問はありませんか。はい、

4番。

○4番（表田陽来君） それなら僕は、今僕の住んでいる高田の近くでも老人の方が多く、この江田島市の人口の減少の原因は老人の方々がいなくなることでもあると思います。だから僕は、何か緊急のための医療機関をつくったらいいと思いました。それについてはどうですか。

○議長（上田 正君） 4番議員さん、それと似たような質問がまた後に出てきますんで、その人のときに答えてもらうということでもいいですか。

○4番（表田陽来君） はい。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。はい、4番さん。

○4番（表田陽来君） 以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） はい。ご苦労さんです。以上で、表田陽来議員の一般質問を終わります。

次、18番 富島優作議員、19番 迫田みなみ議員、お願いします。

○18番（富島優作君） 18番 三高中学校2年、富島優作。

○19番（迫田みなみ君） 19番 1年、迫田みなみ、通告に従って次の質問をさせていただきます。

○18番（富島優作君） 僕たちは、この自然豊かな江田島市の環境をいつまでも守ってゆきたいと考えています。江田島市では、生ごみ処理機の購入費や太陽光発電システムの設置補助を行ったり、早くからレジ袋廃止に取り組むなど環境問題に取り組んでいますが、生ごみ処理機や太陽光発電システムの普及はどのくらい進んでいますか。

市の今年度予算では、太陽光発電システム設置補助に104万円、生ごみ処理機購入補助に80万円となっていますが、現段階でどのくらい利用されていますか。

また、江田島市では環境問題への今後の取り組みについてどのように考えておられるかお聞かせください。お願いします。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 富島優作議員、迫田みなみ議員の「江田島市の環境問題について」の質問にお答えいたします。

最初に、生ごみ処理機や太陽光発電システムの普及についてですが、生ごみ処理機の普及は、生ごみを肥料にする容器やミミズを利用した処理機などに補助をしております。平成21年9月末までに188世帯が利用しております。これらの生ごみ処理機等の利用により、生ごみは年間約32トンの減量となります。

太陽光発電システムの普及は、平成21年9月末までに232世帯が利用しています。太陽光発電システムについては、年間約83万キロワットの発電量が予想され、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）に換算して464トンが削減されていると考えられます。

次に、今年度の利用状況ですが、太陽光発電補助に対する予算額は、当初予算104万円でしたが、昨年6月に216万円増額し、合計320万円となっています。現在35件で23万8千100円の補助を行っています。生ごみ処理機等の予算額は80万円で、現在31件、28万2,600円の補助を行っています。

最後に、江田島市の環境問題への今後の取り組みですが、ごみを減らして、限りある

資源を繰り返して利用する仕組みをつくっていき、地球に優しい社会を目指していきます。そのためには、市民皆さんの協力が必要で、子供のときから環境問題に関心を持ち、ごみ処理施設などの見学や、家庭で自分たちでもできる、物を大切に使う、不要なものを買わない、電気を小まめに切る、生ごみの分別を守るなど、行動することが大切だと思います。

江田島市として、今後ともこのような取り組みを進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（上田 正君） 再質問はありますか。

19番 迫田議員。

○19番（迫田みなみ君） ありがとうございます。

江田島市では、昨年2月からレジ袋廃止運動が行われ、マイバッグ持参率が80%で年間70トンのごみの削減になるとされていました。実施から1年たち、ごみの削減量などどのくらい効果があらわれていますか。お聞かせください。お願いします。

○議長（上田 正君） 西山市民生活部長。

○市民生活部長（西山弘行君） マイバック持参率によるごみの削減量などの効果についてですけれども、江田島市民の方々の協力により、現在、レジ袋無料配布中止協力店では、マイバックの持参率は約90%になり、目標の80%を超えました。このことによりまして、年間約80トン近いごみを減らすことができたと思います。皆さんも引き続きマイバックを持って買い物をお願いいたします。

○議長（上田 正君） はい、19番。

○19番（迫田みなみ君） はい、ありがとうございます。

最後に私から提案があります。きょうここに集まった小学校、中学校がそれぞれの学校の児童会、生徒会を中心に何か一つずつリサイクル運動に取り組んだらどうでしょう。三高中学校では牛乳パックの回収をしたいと考えています。皆さんも考えてみてください。そして江田島市民みんなの環境意識を高め、この豊かな自然を守っていきましょう。

○18番（富島優作君） これで三高中学校の質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（上田 正君） はい、尊い提案ありがとうございます。これで、18番富島優作議員、19番 迫田みなみ議員の一般質問を終わります。

続いて、9番 川尻真希議員。はい、お願いします。

○9番（川尻真希君） 9番 三高小学校6年、川尻真希です。「江田島市のPRについて」質問をします。

私は小学校4年生の2月に大阪から引っ越してきました。江田島市に来て一番よかったと思うことは、カキがおいしいということと、海が見えるところに住めるということです。これは江田島市のよさだと思います。そこで私は、江田島市にサイクリングコースをつくってはどうかと考えます。

海の風景を見ながら市を自転車で走れたらいいと思うし、コースが整備されていたら他県の人にも来てくれると思います。江田島、能美島を一周できるようなサイクリングコースをつくって宣伝をして、たくさんの人に来てもらって風景を見てもらってほしいの

ではないかと思えます。いかがでしょうか。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 川尻真紀議員の「江田島市のPRについて」の質問にお答えいたします。大阪から来られた川尻さんの感想は、まさに本市のセールスポイントと言えるものです。サイクリングコースをつくって観光客に来てもらうアイデアは本当にすばらしいと思えます。

江田島市の特色は、広島湾の南に位置し、周りに広がる瀬戸内海と穏やかな気候、美しい景観です。この景色を見ながらのサイクリングコースができればとてもよいと思えます。また、来年度、国と一緒に島における新しい交流事業を行うため、江田島市の観光ポイントやイベントをめぐるコースを考える計画があります。この計画を進めて行く中で、島内のサイクリングコースや登山コースなども考えることになっておりますので、ぜひこのアイデアを生かしたいと思えます。

このほかにも、サイクリングコースや観光スポットのパンフレットを作成し、市のホームページを使って江田島市のPRに努め、たくさんの人に来てもらえるように頑張りたいと思えます。

大変貴重な質問でありありがとうございます。

○議長（上田 正君） ほかに質問ないですか。はい、9番議員。

○9番（川尻真希君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） これで9番、川尻真希議員の一般質問を終わります。

続いて、17番 横撫夏美議員の質問。はい、お願いします。

○17番（横撫夏美君） 17番 能美中学校2年、横撫夏美です。「街灯設置について」質問します。

私たちの住んでいる江田島市には、特に国道沿いではないところに、余り街灯が設置されていないように思えます。また、電気が切れたままの街灯も、見かけることもあります。街灯がないために事故が起きたり、不審者が出たりするなどのさまざまな問題が起きるのではないかと大変心配です。

私は、街灯をふやし、また修復を早くすることで、市内を安心して通行することができると思えます。また、もし中町港などの港に街灯をふやすと、初めて江田島に来た人が船からおりたときに明るい印象を受けると思えます。

また、現在、街灯をLEDを使用する自治体がふえていると聞きました。LEDは省エネで長もちするので環境に優しいと思えます。江田島市でも、新しく街灯を設置したり、修復したりするときには、LEDを使用すれば環境に優しい市というアピールができると思えます。以上のようなことは、可能ですか？

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 能美中学校の横撫夏美議員の「街灯設置について」の質問にお答えいたします。

まず最初に、防犯外灯が設置されていない箇所への増設についてですが、市では防犯外灯を設置する際には、自治会など各地域から要望書を提出してもらい、それぞれ必要性の検討を行って、緊急度が高いと思われるところから設置しているところです。また、

防犯外灯の修復については、球切れ等の連絡が入り次第、業者に修繕依頼を行うなど、安心・安全の面からできるだけ早い対応を心がけております。

次に、現在、市で設置している防犯外灯は、蛍光灯仕様で約4,800カ所あります。これをLED仕様に変更するには器具の取りかえが必要となります。この蛍光灯の器具からLEDの器具に変えるためには、1カ所当たり18,000円かかります。これは蛍光灯の場合の約2.5倍で、これをすべて切りかえするには多額の費用が必要となり、今の市の財政状況を考えると大変難しいのが現状でございます。

しかし、横撫議員の提案のとおり、環境に優しい市を目指す上では、LEDを使用した防犯外灯への切りかえは大きな効果が期待されます。防犯外灯だけではなく、市の建物などにも現在蛍光灯使われておりますので、防犯外灯、それから市の皆さんが勉強しておる学校も皆そうですけれども、みんな普通の蛍光灯を使用しておりますので、非常に多額のお金がかかるといことで、順次できる範囲で導入していきまして、財政状況等を勘案しながら更新していきたいというように考えております。

以上です。

○議長（上田 正君） 再質問。はい、お願いします。

○17番（横撫夏美君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で17番 横撫夏美議員の一般質問を終わります。

続いて、5番 高田菜々子議員、6番 杉原由真議員、お願いします。

○5番（高田菜々子君） 5番 中町小学校6年、高田菜々子です。

○6番（杉原由真君） 6番 同じく杉原由真です。

○5番（高田菜々子君） 「江田島市の医療体制について」質問します。

私は子供のころ、夜、高い熱が出ました。江田島市内には、診察してもらえる病院がなく、呉市内の病院まで診てもらいに行きました。父や母はとても心配したそうです。幸い、私は入院することもなく、熱も3日で下がったそうです。去年は、新型インフルエンザが大流行しましたが、私の知り合いの子供さんは夜に熱が出たのですが、診てもらえる病院がなく朝まで待ちました。朝近くの病院へ行くと、すぐ呉の病院に運ばれ2週間入院したそうです。

○6番（杉原由真君） 江田島市内にはいいお医者さんもたくさんおられますが、夜間診てもらえる病院がありません。このような江田島市の状況をどうお考えですか。

市長様のお考えをお聞きします。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 中町小学校の高田菜々子議員、杉原由真議員の「江田島市の医療体制について」の質問にお答えいたします。

夜間診てもらえる病院はないが、この状況をどう考えますかという質問でございますが、江田島市では、每晚3つの病院が順番で診察を行っております。お医者さんの集まりである医師会というところが、その順番を決めて消防署に連絡をしています。もし、皆さんや家族の方が、夜、急に具合が悪くなったら、消防署に電話をして、その時の状態を伝えてください。そうすれば、消防署の人が診察をしてもらえる病院などのアドバイスをしてくれます。もし必要なら救急車で病院まで運んでくれます。

また、その他に、あなたや家族の健康や身体のことを相談できるように、普段から通院する病院、かかりつけのお医者さんを近くにつくっておいて、夜、急に具合が悪くなったら連絡ができるようにしておくのも一つの方法ということでございます。議員さんが言われるように夜行く病院がないということはありませんので、よく連絡を、消防署などに連絡をしてもらえますと、ちゃんとどこの病院が夜受け付けますということで連絡をいたしますので、そのようにお願いをしたいと思います。

終わります。

○議長（上田 正君） 再度質問はありませんか。

6番 杉原議員。

○6番（杉原由真君） 僕は人の命を守るために江田島市の予算を使うことが一番大切なことだと思っています。しかし、その予算には限りがあります。そこで、国の行っている事業仕分けを江田島市でも行っていただき、命を守るための予算を生み出してはいかがでしょうか。

市長様のお考えをお聞きします。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 命を守るための取り組みは大切なことです。江田島市では、限られた予算の中で、市民の皆さんが安全・安心に暮らしていけるよう、いろいろな仕事に取り組んでいます。中でも、全予算の約4割に当たる額が、社会福祉や病气・介護のための医療費などに使われています。

質問は、急に病气などになったときのために必要な予算を、とのことだと思います。今でも、急な病气になったときなどのため、夜間の医療機関のほか、日曜日や祝日に当番で診療をしてもらうように、市内に2カ所の医療機関に当番医をお願いしております。また、高度な検査が必要な患者や重症救急患者のためには、市内の医療機関を支援する病院として、呉市にある呉共済病院と済生会呉病院を指定して体制を整えています。

また、病気の予防として、予防接種や乳幼児健診などの費用を補助したり、母子の健康づくりや住民健診、がん検診などを行い、健康増進にも努めているところです。

このほかの予算についても、人が安全・安心に暮らしていくための必要な事業として、取り組みを進めているところです。

以上です。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。

はい、5番 高田議員。

○5番（高田菜々子君） 東京には、病気が治りかけた子供を預かってくれる託児所があると母から聞きました。これがあれば、親も安心して仕事に行くことができるのではないかと思います。江田島市でもつくることはできるでしょうか。

市長様のお考えをお聞きします。

○議長（上田 正君） 5番議員さん、ちょっと、市長さんじゃなしに、専門的なことなので、専門の部長に答えてもらいます。徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 残念ながら、江田島市にはそういう託児所はありません。ご質問のような施設をつくるためには、小児科の医師、看護師、保育士等のスタ

ップを設置し、予測しにくい子供さんの病気の変化にも十分に対応できる体制を整えなければなりません。安心して子育てできる環境づくりを推進する上では必要であると認識しておりますけれども、現状ではそのような施設をつくることは大変難しいことであると考えています。

以上です。

○議長（上田 正君） 6 番議員。

○6 番（杉原由真君） 以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（上田 正君） ご苦労さん。以上で5 番 高田菜々子議員、6 番 杉原由真議員の一般質問を終わります。

続いて、1 番 八川竜也議員、2 番 山本滉己議員の質問をお願いします。

○2 番（山本滉己君） 僕たちは、「子供たちが江田島市の自然や産業の体験ができるプロジェクトについて」質問します。

僕たちは夏休みに、「豊かな体験学習」で北広島町を訪れ、3泊4日でさまざまな体験をしました。それは、農業体験や川魚の手づかみ体験、林業体験、湿原トレッキング、神楽鑑賞・体験、民宿宿泊などです。僕たちは、北広島町の自然や民宿の方々や団体の方々と触れ合い、そのよさを味わい、また訪れたいという気持ちになりました。2月には8日と9日、1泊2日でもう一度北広島町を訪れ、スキー体験と民宿宿泊をします。とても楽しみにしています。

江田島市にも、このように、子供たちが江田島の自然や産業のすばらしさを感じ、たくさん島の人と触れ合うような江田島市をあげてのプロジェクトがあったらいいと思うのですが、そのような計画はありますか。そういう計画があれば、江田島の魅力が広まり、住む人や訪れる人がふえ、江田島が発展すると思います。

これが私たちの質問です。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 切串小学校の八川竜也議員、それから山本滉己議員の「子供たちが江田島市の自然や産業の体験ができるプロジェクトについて」の質問にお答えいたします。

夏休みには北広島町で農業・林業などの貴重な体験をされて大変よかったですね。皆さんが参加された活動は、「子ども農村漁村プロジェクト」といって、国の行っている、愛称「ふるさと子ども夢学校」と呼ばれ、広島県では北広島町がモデル地域となっているものです。このようなモデル地域になるには、海や山、それぞれの地域の自然環境などいろいろな条件があるようではありますが、このプロジェクトと同じようなことはできませんが、本市にも豊かな自然に触れながら、農業・漁業などの体験をすることがたくさんできます。

実際に、今年度も広島市内の安佐中学校1年生79名、2年生95名、呉市の倉橋西中学校生徒27名、東京のアメリカンスクール生徒20名から、生徒が訪れ、トマトのもぎ取り、キュウリのもぎ取り、鶏の卵拾い、カキ打ちなどいろいろと体験されています。また、江田島市では、国立青少年交流の家や自然環境体験学習交流館、環境館ですね、と連携して、特産のカキ、みかん、イチゴなど、季節ごとに旬のものを体験メニュ



一に盛り込んだ日帰りツアーを毎年実施しており、毎回定員を超えるほどの人気となっております。これからも、現在16種類ある体験メニューをもっとPRして、子供から大人まで多くの人に江田島市に訪れていただくようPRをしたいというように思っております。

これからも皆さんの考えを少しでも市の中へ取り入れて実現できるように頑張りたいと思います。終わります。

○議長（上田 正君） ほかに質問ありますか。1番 八川議員。

○1番（八川竜也君） ツアーなどがあることはわかったのですが、そういうことはホームページとかには載っているのでしょうか。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） 市の観光のホームページにも載せております。ごらんください。

○議長（上田 正君） いいですか。ほかにあります。はい、1番議員。

○1番（八川竜也君） 答えていただきありがとうございます。

僕たちは、島の子供たちだけでなく、それ以外の子供たちにも島を訪れ、島のよさを知ってもらいたいと思います。ただ、どれも単発で、それらをつなげるような取り組みがあればいいのになあと思いました。

例えば、私たちの住む切串で考えたら、カキ打ち体験をして打ったカキを切串中学校を改造して建てた宿泊施設で試食し、宿泊します。ほかにも、切串中学校を改造した宿泊施設を拠点に、みかん狩りや切串の浜の生き物観察、いちじくゼリーづくりなどの体験活動が考えられます。このように、体験、食事、宿泊をセットにしたコースが提案されるということです。そしてそのコーディネートを江田島市にやってもらいたいと思いました。体験型の授業をツアーに開発し、江田島市に泊まってもらって格安でいろんなことが体験してもらい、島内、島外を問わずみんなが楽しめるようなものをつくっていただければ、江田島市の魅力が広まると思うのですが、それについてはいかがでしょうか。

○議長（上田 正君） はい、島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） 貴重なご提案ありがとうございます。

江田島市では昨年度から旅行会社とタイアップいたしまして、日帰り、江田島日帰り体験ツアーいうのを実施しております。昨年は3回、今年度は4回実施をします。この中では、体験メニュー、これを組み合わせ、例えばカキ打ちとみかん狩り、先ほど言われたみかん狩りとかですね、いろんなものを組み合わせしております。それから、食事でもできるようにしています。宿泊につきましては、最終目標は宿泊も含めてというのを目標にしておりますが、当面は今の体験メニュー、これを皆さんに知っていただく、また江田島ファンをつくっていく、こういうところに力を入れて、今頑張っておるところでございます。

○議長（上田 正君） ほかにありませんか。いいですか。はい、1番議員さん。

○1番（八川竜也君） お答えいただきありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（上田 正君） はい、これで1番 八川竜也議員、2番 山本滉己議員の一般質問を終わります。

続いて、3番 中畑駿之助議員、お願いします。

○3番（中畑駿之助君） 3番 江田島小学校、中畑駿之助。「江田島市の芝生の公園について」質問します。

僕は父親の仕事の関係で1年間アメリカで生活した経験があります。アメリカでは芝生を植えている家庭が多く、公園にも芝生を植えている場合が多かったです。新しい江田島小学校でも人工芝のスペースがあり、みんなとても喜んでいますが。芝生の公園があれば転んでも安全なので、小さい子供も安心して遊べるし、緑の多い公園は気分も安らぐのではないかと思います。江田島市にもそのような公園があれば市民の憩いの場となると思います。

現在、江田島市では芝生の植えてある公園がどのくらいありますか。教えてください。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 江田島小学校の中畑駿之助議員の「江田島市の芝生の公園について」の質問にお答えいたします。

公園は、市民の憩いの場として、また、散歩や運動、それからレクリエーションや、災害が起きたときの避難場所にも利用されることは皆さんも知っていることと思います。江田島市には約50カ所の公園があります。そのうち、江田島町の中央公園など5カ所の公園の一部に芝生を植えています。芝生があれば、土ぼこりや砂ぼこりが立たず、転んでもけがをすることが少なく、目にも優しく、心のゆとりが生まれます。

しかし、芝生を植え、よい状態を維持していくには、多くの費用と力が要ります。現在、市内の大部分の公園は、地域の皆さんの協力で草刈りなどをしていただいています。すべての公園に芝生を植えることは難しいことですが、公園の維持や管理に地域や利用する方々の協力をお願いしながら、公園内の芝生緑化に努めていきたいと考えております。

終わります。

○議長（上田 正君） 3番議員さん、ほかにありませんか。はい、3番議員。

○3番（中畑駿之助君） 以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、3番 中畑駿之助議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩いたします。

3時15分まで休憩をいたします。

（休憩 15時09分）

（再開 15時18分）

○議長（上田 正君） 休憩を解いて会議を再開します。

12番 山野由美議員、13番 中矢寛子議員の質問をお願いします。

○12番（山野由美君） 12番 柿浦小学校6年、山野由美です。

○13番（中矢寛子君） 13番 同じく6年、中矢寛子です。

○12番（山野由美君） 「高齢者の介護について」質問をします。

江田島市の人口はだんだん減ってきて高齢者の割合は高くなってきています。高齢者

でひとり暮らしをされている方も随分おられます。また、介護を必要とされている方も多くおられます。しかし、介護施設が少なく自宅介護をしている方が多いようです。

○13番（中矢寛子君） 実際、クラスの友達の家でも、介護施設に入るために順番を待っていて、家でおばあさんやおじいさんの面倒を見ています。おふろに入れるのに体を抱えないといけなかったり、夜中に何度も起こされたりと大変なことがたくさんあるそうです。毎日のことなので、家族にとっても負担がかかっているそうです。

高齢者を介護している家庭の負担を少しでも減らすために、どのような取り組みを考えておられるか教えてください。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 柿浦小学校の山野由美議員、中矢寛子議員の「高齢者の介護について」の質問にお答えいたします。

現在、江田島市の人口は約2万8千人です。65歳以上の高齢者は約1万人で、3人に1人は高齢者という状況で、高齢者の健康や介護は市の重要な課題となっています。多くの高齢者は、元気で毎日を生活していますが、中には体が不自由になり、家庭で介護を必要とする方もおられます。また、家庭での介護が難しい場合は、介護施設に入所することになります。家庭で介護を受ける方には、家族の負担を少しでも軽くできるように、介護保険のサービスを利用してヘルパーにお手伝いをしてもらおうとか、トイレやおふろに手すりをつけたり、玄関と廊下の段差をなくするための工事の費用負担を行っています。

さらに、デイサービスとありますが、施設に通って、おふろや食事などのサービスの提供も受けることができます。また、介護施設が少ないため順番を待っているおじいさんやおばあさんがたくさんいるという問題がありました。介護施設をつくることについては、介護保険法という法律によって設置する基準が細かく決められています。これは全国共通の基準となっていますので、江田島市が他の市町と比べて特に施設が少ないということではありません。この設置基準が見直されれば、施設をふやすことができるようになります。

以上です。

○議長（上田 正君） 12番議員さん、13番議員さん、何かありますか。はい、12番議員さん。

○12番（山野由美君） お答えありがとうございました。以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、12番 山野由美議員、13番 中矢寛子議員の一般質問を終わります。

続いて、10番 高祖信宏議員、11番 三好元輝議員の質問をお願いします。

○11番（三好元輝君） 11番 大古小学校6年、三好元輝。

○10番（高祖信宏君） 10番 大古小学校6年、高祖信宏。

○11番（三好元輝君） 「海をきれいにする運動について」、海をきれいにする運動をつくってもらいたいと思うので、このことについて質問します。

最近、環境問題が大きく取り上げられています。その一つとして、海の汚れもあると思います。僕たち大古小学校では、生活科や総合的な学習の時間などで、科学研究のテ

ーマとして海の生活について調べたり、遊んだり、海の自然の美しさや大切さを学ばせてもらいました。

○10番（高祖信宏君） そんな海が、今はゴミが散乱し、ハクセンシオマネキやカブトガニなどの大切な生き物が絶滅してしまいそうです。そこで、僕たち自身が海をきれいにすることが、自分たちのためにも、江田島の海にいる生物のためにも、地球のためにも、第一歩だと思うのですが、市長のお考えをお聞かせください。お願いします。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 大古小学校の高祖信宏議員、三好元輝議員の「海をきれいにする運動について」の質問にお答えいたします。

議員が言われるように、みんなが環境問題に関心を持つことが海をきれいにするためには大切なことだと思います。下水道の整備が進んできたことで、海の水質はよくなっていますが、海浜や海底には多くのごみがたまっています。ゴミの発生は、陸地から川などを伝って海に入ってくるものが多く、住民みんなの取り組みが必要だと思います。

現在、海をきれいにする取り組みとしては、漁協の行う海浜の一斉清掃や湾内の清掃、漁業者の自主回収、また、地域住民による海浜清掃などがあります。しかし、一部の活動だけでは効果がなく、海の清掃を小・中学生を含めて住民全体の取り組みとして広げていくとともに、一番大切なのはゴミを捨てない運動や、再利用してゴミを減らすなどのリサイクル運動に取り組むことだと思います。そして、江田島のきれいな自然を守っていく運動を進めていきたいと思っています。

以上です。

○議長（上田 正君） 10番議員、11番議員さん、何かありますか。はい、10番議員さん。

○10番（高祖信宏君） お答えありがとうございました。地域によってヤカキ業者によっては、清掃活動している地域もあるんですね。江田島市にはハクセンシオマネキやカブトガニなどとても貴重な生き物がたくさんいます。そのような生物の保護や自然環境を保全することを僕たちもしていきたいと思いました。これからも自分たちだけでなく、もっと年下の友達にも生き物たちや江田島の海のことを伝えていきたいと思いました。

そのためにもこのようなすばらしい活動を地域だけのものではなく、江田島市全体の活動となるようにしてはどうでしょうか。それこそ、江田島から世界へと発信していけたらと思います。例えば、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日である7月第3月曜日の海の日を、江田島海の日として、江田島市全体に広げ、海の清掃活動をする日にしてはいかがでしょうか。

○議長（上田 正君） 島本産業部長。

○産業部長（島本俊明君） 提案ありがとうございます。先ほどの市長の答弁にもありましたが、海の日にちなんで漁業者さんが海浜清掃を行っております。この場をもっともっと広げていきたいというふうに思いますので、ご協力をお願いします。

それからですね、今の海浜清掃は一時的な効果しかございません。今皆さん持ってる

お気持ちをいつまでも忘れないようにして、一人ひとりが気をつけてごみを出さないようによろしく願いしておきます。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 先ほど私が答弁申し上げましたように、ごみを拾うことが大事なんではなくて、みんながごみを捨てないということの方が大事なわけで、その辺を、みんな何か拾うことが大事なんで一生懸命拾うんですけども、ごみを捨てなければ拾うこと必要ないわけなんで、これは大人も子供も、ごみをとにかく、道路だとか川なんか捨てないということが一番大事なんで、そういったことはいろんな場所で啓発していきたいというように思います。

それと、先ほど海の日を江田島の海の日にしてはどうかというご提言がありましたが、皆さんもご存じのように、江田島市内では町内一斉掃除といって、陸を含めてそれぞれのまちで、地域の人が全部出て清掃活動しておりますけれども、海に限っては、市民全部が出て浜辺でごみを拾うとかいうような活動はありません。先ほど答弁の中でばらばらにいろんな団体の人がばらばらにごみを拾ったりはしておりますけれども、市民全体が海のごみを拾いましょうと、例えば海の日とかいうように決めて拾ったりということはしていません。大変いい提案をしていただいたというように思っておりますので、実際にこれができるか考えてみたいと思います。

大変ありがとうございました。

○市長（田中達美君） ほかにありませんか。いいですか。はい、11番。

○11番（三好元輝君） お答えありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、10番 高祖信宏議員、11番 三好元輝議員の一般質問を終わります。

続いて、14番 道本竜一議員の質問、お願いします。

○14番（道本竜一君） 14番 飛渡瀬小学校6年、道本竜一です。

「安心して健康に暮らせるまちづくり」について、質問します。

市長は住みよい江田島市を目指されているそうですが、今の江田島市に安心して生活できる大きな総合病院がありますか。僕の家族は、急病で夜遅く呉まで車を使って救急病院に行かなければならないことがありました。また、亡くなった祖父も島に大きな病院がないため、広島まで行かなければならないこともありました。とても困りました。このような実体験だけではなく、地域や近所の人からも「大きな総合病院が近くにあったらいいのね。」という声もたくさんありました。

これからの江田島市のことを考えて、みんなが安心して健康に暮らせるように、この島に一つでも大きな総合病院を建てると市民の皆さんから喜ばれると思うのですが、いかがでしょうか。また、現在の島の医療機関の充実をどのようにお考えですか。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 飛渡瀬小学校の道本竜一議員の「安心して健康に暮らせるまちづくりについて」の質問にお答えいたします。

最初に、今の江田島市に安心して生活できる大きな総合病院がありますかという質問でございますが、残念ながら江田島市には大きな総合病院はありません。広島の県病院

や市民病院、呉の国立病院や呉共済病院に頼っているのが現状でございます。

次に、この島に大きな総合病院を建てたらという質問ですが、大きな病院を建設するには、建設費用や医療器械の整備のため、大変たくさんのお金が必要となります。また、大きな病院を建設しても、それを維持していくためには、お医者さんとか看護師さんなどたくさんの人を確保しなければなりません。そのためのお金も要ります。このようなことから、大変残念ですが、江田島市の人口規模では大きな総合病院の建設は難しいものと考えております。

最後の、島の医療機関の充実をどのように考えますかという質問ですが、現在、江田島市には4つの病院と、19の医院または診療所があり、合計で23の医療機関があります。医療機関はどれだけあれば充実しているという基準はありませんが、現在ある江田島市内の医療機関を十分活用することが必要だと考えます。ふだんから皆さんの健康状態を知ってもらうために、地域の病院などでかかりつけのお医者さんをつくり、病気になったら、まずその病院で受診し、専門的な検査や入院が必要となった場合には、そのお医者さんの紹介により大きな総合病院で診てもらおうようにすることが大事と考えます。また、今第二音戸大橋が工事をしておりますけれども、もう4、5年しますと第二音戸大橋が完成します。そうすると、江田島市内から呉の大きい病院には今よりは5分から7、8分は時間が短縮できるようになりますので、第二音戸大橋ができればそれだけ助かる人とか、早く病院へ行けるということで、早くできるのを待っているところでございます。

以上です。

○議長（上田 正君） はい、14番議員さん、何かありますか。

○14番（道本竜一君） 大きな総合病院が建てないと言うのでしたら、現在、世の中は少子化と言われております。そこで、僕は、まず産婦人科だけでも必要だと考えます。それに、お産は急に起こることも多いので、近くに産婦人科があれば安心して子供も育てられると思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（上田 正君） 徳永福祉保健部長。

○福祉保健部長（徳永信幸君） 江田島市にお産のできる産婦人科があればいいのですが、残念ながらありません。今、産婦人科の医者が全国的に不足している状況でございます。呉市内でも産婦人科は13ありますが、お産のできる病院は4つしかありません。江田島市では、安心してお産ができるように、呉市と協力して呉市の病院で出産する場合は、健診のためのかかりつけ医をつくり、定期的な健診を受けてお産のできる病院を紹介してもらえよう体制としております。

また、元気な赤ちゃんが生まれるよう、市の保健師も定期的な指導を行っているところでございます。以上です。

○議長（上田 正君） 14番議員さん、いいですか。はい、お願いします。

○14番（道本竜一君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、14番 道本竜一議員の一般質問を終わります。

続いて、20番 盛本秀之議員、21番 中矢拓也議員の質問をお願いします。

○20番（盛本秀之君） 20番 大柿中学校2年、盛本秀之です。「島内の働く場

所の確保について」質問したいと思います。

「広報えたじま」1月号の、田中市長さんと上田市議会議長さんの新春対談「江田島市をよりよいまちへ」を拝読しました。その中での市長さんのお言葉について質問します。

市長さんは、現在の江田島市の重大な問題である少子高齢化・人口減少を食いとめるには、島内に働く場所を確保することが人口減少に歯どめをかける一つの方法だとおっしゃっていました。私もそのとおりだと思います。

そこで質問ですが、市長さんはどのように職場をふやしていくおつもりですか。また、どのような職種がこの島には必要だと思いますか。また、島内に働く場所を確保するために、僕たち中学生ができることや考えておかなければならないことは何でしょうか。

以上の質問について、よろしく願いいたします。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 大柿中学校の盛本秀之議員、中矢拓也議員の「島内での働く場所の確保について」の質問にお答えいたします。

質問の内容を見て、お二人が、毎月発行している「広報えたじま」をしっかりと読んでもらっていることに感心しました。大変うれしく思いました。

それでは、質問にお答えいたします。職場をふやすためには、企業誘致ができれば一番よいのですが、先ほども申し上げましたように立地条件などの問題があり、なかなか企業誘致できないのが現状でございます。今後も、企業誘致なども必要と思いますが、今、江田島市で働く場所をふやしていくこととして考えられることは、江田島市の地場産業である農業・水産業を発展させることだと私は思っております。

江田島市が目指すまちづくりの大きな柱の一つに、3Fを生かした元気づくりがあります。3Fとは、フルーツ、フラワー、フィッシュ、つまり、農業・漁業です。

現在、この江田島市を特徴づける3Fの特産品づくりを進め、その生産や販売に力を入れております。農業では、昨年度は小菊の生産者やスイトピーの生産者が農業法人をつくり、会社ですね。農業法人をつくり地元の人を採用するなど、新しい働く場所となっております。また、漁業では、特産品のカキは、むき身だけではなく、カキラーメン、カキ餃子など、カキを使ったいろいろな製品の開発を行っております。

このように、農業・漁業などは、さまざまな可能性を持っております。将来、皆さんの中から、農業・漁業に関係した会社を設立する人があらわれるかもしれませんね。

最後に皆さんにお願いとして、これからも、自分たちが住んでいる江田島市のことに對して関心を持ってください。そして、住みやすい江田島市にするために、子供の目線からいろいろと提案をしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（上田 正君） 20番議員さん、再質問がありますか。はい、21番。

○21番（中矢拓也君） ご丁寧な答弁ありがとうございました。再質問をさせていただきます。

私たちがしっかり学ぶ場として、市内に9校の小学校、4校の中学校、1校の高等学校があります。市長さんたちはそれぞれどんな学校になってほしいと思いますか。

市長の意見をお聞きしたいです。以上で質問を終わります。

○議長（上田 正君） 教育長、答弁できますか。万治教育長。

○教育長（万治 功君） 私たちが教育の行政を担う責任者として望むのは、私の思いは、やはりですね、皆さん、知育、徳育、体育ってわかりますか。気は優しく力持ちという言葉ね。もちろん、基礎的な知識や技能、これを知という、知識という。そしてテストで点が取れる力も、これは知識ですね。その力だけでなく、知識もあって、そして思いやりの心、感動する心があって、そして、元気な体で、難しく言うと、確かな学力、そして健やかな体、そして豊かな心、こういう表現もしますよね。そんな子供が育つような学校であってほしい、こういうことなんですね。

だからそのためには、先ほど質問の中にも、僕たちは中学生としてどんなことをしとけばいいかということがありましたけれどね。今の中学生、あなたたちの段階では、どんな企業が来ても、働く場所があっても、その中で働く人の人間がしっかりしていないといけないということで、今の時期は大いに自分たちの心と体と精神を鍛えておいてほしいと思います。

以上です。

○議長（上田 正君） まだ、いいですか。今の質問の答えいいですか。あったら言ってもいいよ、遠慮しんさんな。いいです。それでは、終わりでいいですか。まだあります。いいです。

以上で、20番 盛本秀之議員、21番 中矢拓也議員の一般質問を終わります。

続いて、15番 胡谷悠真議員、16番 白桃あゆみ議員の質問をお願いします。

○15番（胡谷悠真君） 15番 江田島中学校2年、胡谷悠真です。

○16番（白桃あゆみ君） 16番 江田島中学校2年、白桃あゆみです。

「廃校になった小学校の活用について」質問します。

○15番（胡谷悠真君） 僕は廃校になった小学校の校舎の活用について質問します。

今、江田島町内では、5つの小学校が廃校になっています。その中で、例えば、宮ノ原小学校は週末に住民の人たちに校舎を利用してもらうコミュニティセンターのような形で活用されています。その他の廃校になっている小学校の校舎については、何か活用する方法を考えておられますか。

○16番（白桃あゆみ君） 私たちの考えとしては、そのほかの廃校になっている小学校の校舎についても、町内の人々が休憩所や何かの練習場など、自由に利用できるようになればいいと思っています。市として具体的な案があればお聞かせください。

○議長（上田 正君） 田中市長。

○市長（田中達美君） 江田島中学校の胡谷悠真議員、白桃あゆみ議員の「廃校になった小学校の活用について」の質問にお答えいたします。

一言で言うと、非常に苦慮しております。非常に、廃校を利用することについてはいい考えがないので、非常に、簡単に言えば困っているというのが現状でございます。

廃校になった小学校などの活用については、現在、地域の皆さんと一緒に検討しているところがございますが、既に幾つか活用されておる学校もあります。中でも、最も活用されているのが、旧深江小学校を活用した自然環境体験学習交流館です。ここ



では、海辺の自然、ふるさとの自然をテーマとした科学研究や環境学習を企画・運営しております。また、旧大須小学校は、公民館、老人集会所及び出張所として、3つの機能を持って使用されております。さらに、大君小学校、宮ノ原小学校、沖小学校については、自治会などが地域活動の場所として使用しております。

学校には教室が幾つもあり、家庭科室は料理教室、職員室は事務所として利用できますし、校舎や運動場は、地域のスポーツ活動の施設としても利用できます。しかし、廃校になった小学校を再利用するためには、改修のための費用が必要であり、中には建設から年数がたち、再利用が難しい施設もあります。また、公民館など他の集会施設の利用ともあわせて、どうすれば効果的・効率的に使えるか、十分に検討し、最もよいと思われる活用方法を考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（上田 正君） 15番、16番議員さん、お願いします。

○15番（胡谷悠真君） 市として閉校になった小学校の活用について検討していただいていることがよくわかりました。ありがとうございました。

僕と白桃議員は江田島中学校生徒会を代表して本日ここに来ています。江田島中学校生徒会としても、閉校となった学校をどのように活用できるかということについて話し合ってきました。実現可能であるかわかりませんが、ここで2つ提案させていただきます。参考としていただければありがたいです。

1つ目は、秋月小学校の活用についてです。

秋月小学校は以前、図書室が開放されていきました。しかし、借りる人が少なかったからなのか、現在は開放されていません。本を貸し出すという活用方法だけでなく、例えば長期の休みに小・中学生が気軽に学習できる場として活用できないかという意見が出ました。また、秋月には週末や休日など多くの釣り客の方々が来られます。その釣り客の方々に向けた休憩所として活用できないかという意見も出ました。生徒会としては図書室の開け閉め、かぎの管理、掃除について協力できるのではないかと考えています。

○16番（白桃あゆみ君） 2つ目は、切串中学校の活用についてです。今回は閉校になった小学校の活用についてということで質問したわけですが、生徒会で話し合っているときに、切串中学校の活用についても意見が出ましたので、ここで発表させていただきます。

切串地区には公民館がありますが、公民館の周辺の道は幅が狭く、また駐車場もとても狭いです。切串中学校は広い道の横にあり、そしてグラウンドもあるので、車がたくさん駐車できます。公民館がこの場所があれば便利になるのではないかという意見が出ました。この2つ目の意見については、生徒会で協力することは難しいと思いますが、それぞれの地域にある閉校となった小学校の活用について、生徒会として何かできることがあれば協力したいと考えています。

以上、質問ではありませんが、江田島中学校生徒会としての意見を発表させていただきました。

○議長（上田 正君） 酒永総務部長。

○総務部長（酒永光志君） 大変いろいろたくさんアイデアをいただきまして、まこ

とにありがとうございます。市の内部におきましても、たくさんあります公共施設の中で、その目的が似通った施設や同じような施設が付近に何カ所もあるものについて、現在その利用方法、活用方法等について、統廃合も含め効果的な活用ができるように検討をしているところでございます。

学校を初めとする多くの公共施設は、その建設の際に国の補助金をいただいて建設をしています。一つの目的を持って建設した公共施設は、例え使わなくなったものでも、勝手にほかの用途に使うことができないようになっていきます。先ほど市長がお答えしましたように、自治会活動であるとか、公共的に使用することについては、国との協議、また県との相談を進めながら、有効活用をしているところでございます。

今後ともただいま提案していただきましたような、いろいろな使用方法等を考えて、引き続き有効活用を考えていきたいと、このように思っております。

皆様のご協力もよろしくお願いをいたします。終わります。

○議長（上田 正君） ほかにありますか。いいです。はい。

以上で、15番 胡谷悠真議員、16番 白桃あゆみ議員の一般質問を終わります。

以上をもって、本子ども議会に付議された案件の審議はすべて終了しました。

これにて、平成22年第1回江田島市子ども議会を閉会いたします。

最後に、万治教育長があいさつを行います。万治教育長。

○教育長（万治 功君） はい、それでは皆さん、この閉会に当たりまして一言あいさつをいたします。

きょうは、小・中学校の子ども議員の皆さん、議会の体験をされていかがだったでしょうか。ちょっと緊張しましたですか。先ほど、手洗いで隣になったある小学生が、ほっとした顔してね、「緊張しました」ということで。当たり前ですよ、緊張しますですよ。大人の私、何回もこの議場で座りますけどね、たんびに緊張しているということですね。

本日のねらいとしてはですね、将来を担う皆さんの意見を、率直な意見を聞いて、どれだけ皆さんの疑問にはわかりやすく答えられるかということで、随分言葉の使い方には苦労と言ったらあれなんですけど、ちょっと注意をいたしました。大人とのやりとりとちょっと言葉が違うんですけどもね。したがって、私自身もいつもよりもゆっくりとものを言ったり、どのくらいで小学生でわかるかなというのがわかりにくいんですけども、私どもはそんな努力をしたつもりであります。

先ほど市長さんが申しあげましたけれども、本日の皆さんの質問、意見をしっかりと受けとめまして、今後の市政の参考にしていきたいというふうに思います。大変ご苦労さまでした。

ところで、皆さん、アメリカの第35代大統領、ジョン・F・ケネディという人がいました。今の大統領は第44代の大統領ですね、オバマさんという方ですが。この35代のケネディ大統領が1961年1月20日、オバマさんも1月20日に大統領の演説を行ったんだそうですね。今からざっと50年ほど前です。そのケネディさんが、大きくは「アクティブシティズン」という、活動する市民という、そういう大きな塊があるんですけどね。その中で、私は中学生でした。英語で「アスク ノット ワッツ ユア

カントリー キャン ドゥ フォー ユー。アスク ワッツ ユー キャン ドゥー  
フォア ユア カントリー。」(Ask not what your country can do for you; ask  
what you can do for your country) こう言ったら、みんながワーとやったのを覚えて  
いるんです。私英語これしかしゃべれませんが、どういうことかと言うと、国があなた  
のために何をしてくれるのか、そうじゃなくて、あなたが国のために何をするのかとい  
うことですね。今から50年ほど前の演説を日本語に訳したのを、中学生のときのをず  
っと覚えているのですが。

だから、人のせいに、人がしてくれない、そして人がしてくれるのを待っているの  
ではなくて、自分が行動を起こしていこうという、先ほど、江田島中学校のお二人が本当  
に貴重な提案をしていただきました。終わったら校長先生ほっとしたような顔をされて  
ましたけれどもね。皆さんはこれからも江田島市のことをもっと知っていただいて、地  
域の行事にも進んで参加してもらって、地域と人との出会いをし、話をして、体験を重  
ねて、社会やまちづくりに関心を持ってほしいと思っています。そのときに、先ほどカン  
トリーと言いました。国は何をしてくれるのかと、その国のところへ、人と置きかえて  
もいいし、学校と置きかえてもいいし、地域と置きかえてもいいんだと思います。私は、  
そのときに、人のために、地域のために何ができるのかということを考えてですね、学  
校生活を送ってほしいと思います。それこそが、これからの江田島市を支える原動力に  
なるもんだと期待をしております。

ここにおられる市長さんは、協働のまちづくりということ、スローガンにされていま  
すが、協働のきょうとは、協力の協という字に働くという字を書くんですね。頭に字が  
浮かびますか。協働のまちづくりです。どうかですね、私たちと一緒にすばらしい江田  
島市をつくってまいりましょう。

本日は、最後に、こうしてきょうの子ども議会のためにご尽力をいただきました、特  
に先生方、本当にありがとうございました。この場をかりまして厚く御礼申し上げます。  
深く重ねてお礼申し上げます、お礼のあいさつといたします。

本日はまことにありがとうございました。

○議会事務局長（玉井栄藏君） 互礼を行います。起立願います。

礼。

ご苦労さんでした。

（閉会 15時57分）

この会議録の内容が間違いないことを確認し署名します。

江田島市議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員